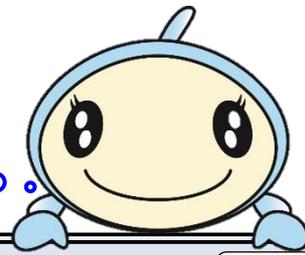


第8号  
R5. 10月



【発行・編集】  
滑川町教育委員会  
TEL0493-56-6907

町の子供は町で育てる

「3つの合言葉」元気・学び・会話

## 滑川町教育委員会だより

「学んでよかった町へ -チーム滑川での教育-」



### 暑さ寒さも彼岸まで

今年は、真夏日の回数が過去最高でした。暑さ寒さも彼岸までといいますが、彼岸が過ぎても暑い日がありました。彼岸の中日である秋分の日、「昼と夜の長さが同じ」です。この日を境に夜が長くなります。秋は過ごしやすい気候で、ゆっくり読書ができる季節で「読書の秋」といわれます。「読書の秋」の由来は、古代中国の漢詩「時秋積雨霽、新涼入郊墟。燈火稍可親、簡編可卷舒。」で、「秋になり長雨があがって空も晴れ、涼しさが丘陵にも及んでいる。ようやく夜の灯に親しみ、書物を広げられる。」がきっかけで、涼しい秋の夜は読書に適しているという考えが浸透したとされています。

読書は時代によって目的は違いますが、いつの時代でも必要とされてきました。例えば、「読書週間」は、戦後まもない1947年に開始され、読書の力で平和を築く目的があったそうです。

現在では、読書を通じて語彙や表現を学ぶことは、子供を大きく成長させることから、読書をしてほしいと願っている人は多いと思います。

読書には、前述の利点とともに、「疑似体験ができる」という点もあります。例えば、世界のことや過去の時代のこと、様々な人の生き方や考え方を体験させることは困難ですが、そうした事柄も、読書なら実体験に近い「疑似体験」ができます。これこそが、子供の成長に対して、読書がもたらす意義だと思えます。

インターネットの普及で、知識を得ることは簡単になりました。知識を得る手段としては、もはや読書は非効率かもしれません。しかし、知識は「経験」になってはじめて身に付きます。テレビやネット動画などの映像で得る情報は、インパクトが強く瞬間的には印象に残りますが、あまり「頭を使っていない」そうです。一方、読書は、本に描かれた情景を自分の頭の中で想像しながら読み進めていきます。このことは、実際に実体験するのと同じくらい印象にも残りやすく、結果、映像よりも実体験に近い感覚を得ることができます。

しかし、読書も活字の羅列に対して目を移動させているだけ（「字面を読む」）では意味がなく、意味を理解しながら読むことが必要です。「主人公は、何でこんなことをしたのだろう」、「この言葉の意味は、何だろう」といった読み方をするのが大切です。より多くの経験が必要な子供にとって、「読書」でたくさんの言葉に触れ、時間をかけながら書き手の想いや話の流れを読み取ることで、知識が経験に変わっていきます。

物事には背景があり、理由があります。それは時に、人の心を動かす内容であったりします。

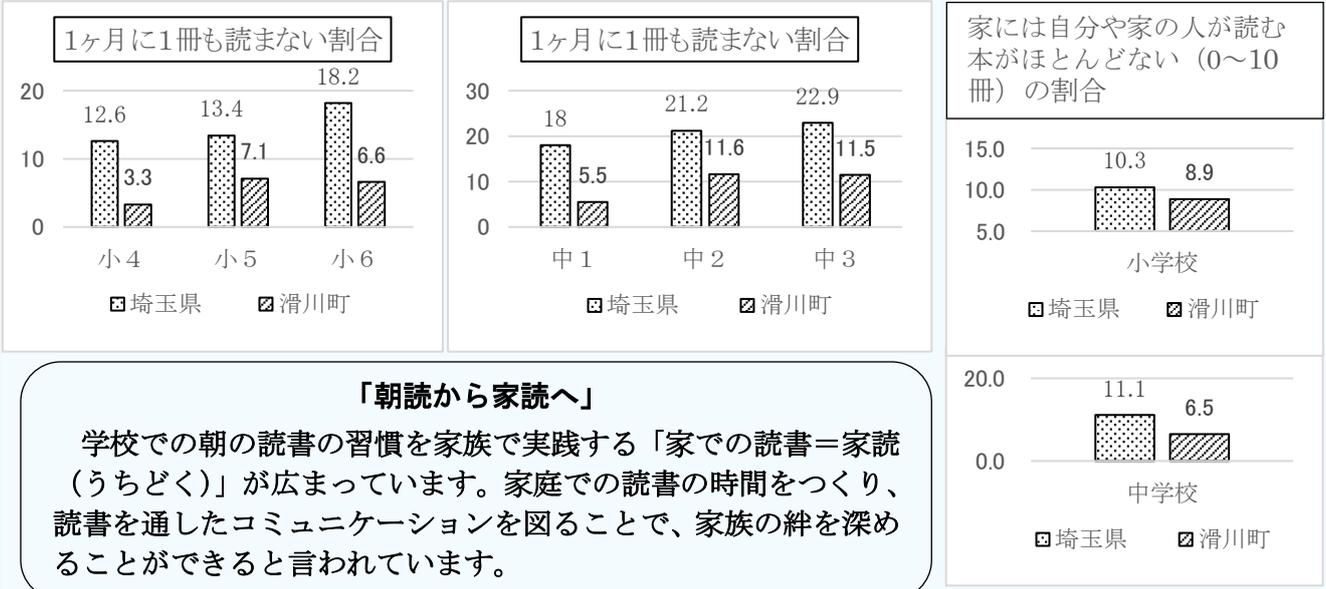
日常生活に点在する「好奇心の種」を少しだけ引き出してあげることができれば、読書や読解力、学力に関する問題は、一気に解決するのではないのでしょうか。

秋の夜長に想いをはせ、読書を通して様々な体験を親子で試してみたいと思いませんか。

## 町の読書の状況

## 学校での読書活動の推進、家庭環境がすばらしい滑川町

埼玉県学習状況調査(小学校4年生から中学校3年生)の質問紙調査に「1か月に、何冊くらいの本を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます)」「家には、自分や家の人を読む本がどれくらいありますか」の質問があります。読書は習慣が大切だと言われています。家に読書の環境(読み聞かせをしている、身近なところに本が置いてあるなど)が重要とされています。調査結果を掲載します。



### 「朝読から家読へ」

学校での朝の読書の習慣を家族で実践する「家での読書＝家読(うちどく)」が広まっています。家庭での読書の時間をつくり、読書を通じたコミュニケーションを図ることで、家族の絆を深めることができるとされています。

## 滑川町のよさを知ろう! 「滑川郷土かるた」を通して No.9

滑川町にはたくさんの寺院があります。今回は「寺院関連札」を紹介します。

伊古圓光寺、月輪福正寺、土塩明照時、羽尾興長寺、水房放光寺、福田成安寺、福田安泰寺

### 慶徳寺 四天王が おわします



慶徳寺は、大字中尾にある古いお寺です。この寺に、町指定文化財の四天王像があります。江戸初期の作で、玉眼、寄木造りで鬼を踏みつけた立像です。四天王とは、帝釈天に仕え、四方を守る護法神で・持国天・増長天、広目天・多聞天をいいます。

### 泉福寺 郷土のほこり 阿弥陀さま



八幡山泉福寺の阿弥陀堂には、阿弥陀如来・観音菩薩・勢至菩薩の三尊が安置されています。本尊は穏やかで気品があり、ヒノキの割矧造で、定朝様式がはっきりとできています。本尊は、国の重要文化財に、他の二仏は県指定の文化財になっています。阿弥陀様は平安末期から鎌倉初期にかけての作品で、当時の最高傑作と言われ、特に有名です。

### 鱧口が 昔を語る 真福寺



今から五百年ほど前に、福田の中郷にある真福寺に鱧口が寄進されました。鱧口は叩いて音を出す仏具です。上杉謙信の小田原攻めの際に、動員された神山氏がこの鱧口を陣鐘として使い、神奈川県寒川町に埋もれていましたが、縁あって再びこの地に戻されたと言われています。